

# 東京放射線

2019年10月号

Vol.66 No.776



公益社団法人 東京都診療放射線技師会  
<http://www.tart.jp/>

卷頭言

打ち上げ花火にしてはならない

篠原健一

2019年度城北支部研修会

第66回きめこまかな生涯教育

2019年度城西支部研修会

第89回日暮里塾ワソコインセミナー

地球環境保全活動 荒川河川敷清掃(荒川クリーンエイド2019@北区荒川岩淵関緑地)

第19回公益社団法人日本放射線技術学会東京支部・  
公益社団法人東京都診療放射線技師会合同学術講演会

第70回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会(抄)  
平成30年度 功労賞(勤続20年表彰)・小野賞・地域功労賞受賞者

研修会等申込書

登録事項変更届

スローガン

チーム医療を推進し、  
国民及び世界に貢献する  
診療放射線技師の育成

2019年  
OCT  
CONTENTS

目 次

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 打ち上げ花火にしてはならない	3
会告1 2019年度城北支部研修会	4
会告2 第66回きめこまかな生涯教育	5
会告3 2019年度城西支部研修会	6
会告4 第89回日暮里塾ワンコインセミナー	7
会告5 地球環境保全活動 荒川河川敷清掃 <荒川クリーンエイド2019@北区 荒川岩淵閑緑地>	8
会告6 第19回公益社団法人日本診療放射線技術学会東京支部 公益社団法人東京都診療放射線技師会合同学術講演会	9
会告7 第67回きめこまかな生涯教育	10
会告8 第90回日暮里塾ワンコインセミナー&第13地区研修会	11
会告9 2019年度業務拡大に伴う統一講習会	12
会告10 2019年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	14
会告11 日本診療放射線技師会の永年勤続表彰について	15
お知らせ1 2019年度第4地区研修会	16
お知らせ2 2019年度第9地区研修会	17
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	18
報告	
第70回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会(抄)	19
平成30年度 功労賞(勤続20年表彰)・小野賞・地域功労賞 受賞者	30
こえ	
・「南関東FRT第5回研修会」に参加して	31
・看護フェスタに参加して	32
・「ピンクリボンウォーク2019」印象記	33
パイプライン	
・第7回 Kanto Advanced MR Forum	34
・東京電子専門学校診療放射線学科 50周年総会記念式典・祝賀会	35
・超音波スクリーニング研修講演会2019五反田	36
研修会等申込書	38
登録事項変更届	39
令和元年度4月~8月期会員動向	41
<hr/> Column & Information	
・学術講演会・研修会等の開催予定	37

# 診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
  - ～患者識別
  - ～事故防止
  - ～感染防止
  - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

# 卷頭言



## 打ち上げ花火にしてはならない

会長 篠原健一

令和元年、われわれの職能がより認知されることにつながるであろう出来事が続いた。ドラマ「ラジエーションハウス」の放映、診療放射線技師初の衆議院議員誕生などである。

しかし、相変わらず名称・呼称の不適切なシーンがなくならない現実もある。

以前の巻頭言で「日本は古来“言霊（ことだま）”の国、漢字が入る以前から言（こと）と事（こと）は同義であった。名前があつて正しく認識されて初めてそのものが実体となるのである」と書いたが、あの時の拙稿のきっかけはある団体の「診療の質向上～チーム医療の推進…」という目的で開かれた会議に出席した際、座長の某大学病院院長殿が頻繁に“レントゲン技師”（一応さん付け）と発言していたことにある。口頭とメールで何回かやんわりと注意を促したが、私が参加している間は改まらなかった。同氏は“看護婦さん”との呼称も繰り返しており、なかなかの根深さを感じたものである。

最近の出来事を二つ。職場のさるベテラン医師が学会発表をするので予演会を聴いてほしいというので参加した。スライド内の表記も口述も「胸部レントゲン」だったので、「胸部エックス線撮影または検査の方が良い」と具申したところ、「間違いか！」と来たので「間違いとは言わないが、学会発表や論文では正確ではないと思います」と申し上げたが最後まで不満顔であった。

もう一つは、某区保健所が区医師会に宛てた「令和元年度東京都乳がん検査従事者等講習会の開催について（依頼）」という通知に、

【当該通知におきまして、「2. 受講（推薦）対象」に、「（医師、看護師、臨床検査技師、事務職員等）～「※ここでの乳がん検診とは、マンモグラフィー検査による健診を指します」】とあったので、「マンモグラフィー（乳房エックス線撮影）は医師または診療放射線技師のみが行える検査であり、対象者の「臨床検査技師」という記述はおかしいではないか」と保健所の担当部局を訪ねて口頭および文書で指摘した。その場では「お預かりします」であったが、メールで以下の回答があった。

【本日窓口でご指摘のあった件でございますが、東京都からの通知にも同様の記載になっております。つきましては、東京都の担当者にお問い合わせいただきますようお願いいたします】

医療行政の出先機関で俸給を得ている人々でさえこの程度というのは情けない。間違いが分からぬのである。その後、保健所の意向により同区医師会から通知された医療機関が同様の問い合わせをしたところ、【都のパンフレットを印刷した印刷会社に連絡してください】という摩訶不思議な回答であったとのことである。認識が乖離しそぎていて、失笑してしまった。

しかし、他者を責めてばかりではいけない。自らが正しく呼称されるような一層の努力が必要である。職能の成り立ちや法整備や今回のような業務範囲の拡大の歴史も認識しなければならない。そして、この流れを次世代からさらに未来へと受け継いでもらわなければならない。

診療放射線技師として初めて衆議院議員となった畠元将吾氏。彼の名前も経歴も選挙活動も知らなかつた診療放射線技師さんも多いと思うが、国政においてしっかり仕事をしてもらい、われわれの職能の認知度を上げるためにも、氏の活動への応援・支援を一層高めていただきたい。

まだまだ現実には認識・認知が低いことに憤りを覚える。冒頭に記した事案により少しでも改善・向上することを期待するが、ただ浮かれているだけでは打ち上げ花火で終わってしまうのである。

# 会 告

## 1



## 2019年度 城北支部研修会

テーマ「JAXA/ISSを知っていますか？」  
～JAXA/ISSの概要と宇宙飛行士の健康管理  
(特に放射線被ばく管理について)～

講師：国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 有人宇宙技術部門 総括医長 三丸 敦洋 氏

ロケット研究者のツイオルコフスキーが「地球は人類のゆりかごである。しかし人類はゆりかごにいつまでも留まっていないだろう」という言葉を遺しています。現在、人類はその言葉通りの過程をたどっているのではないでしょうか。

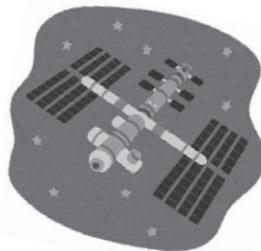
地上から高度およそ400kmの軌道を回る“ISS（国際宇宙ステーション）”。そこでの滞在には、非常に多くの障害が待ち受けています。その中でも目に見えない障害である“宇宙放射線”。高エネルギーの粒子や電磁波が絶え間なく飛び交う環境で過ごすには、滞在者の健康管理（被ばく管理）も非常に重要になってきます。

今回は、そんな壮大なる冒険とわれわれ診療放射線技師との共通点？ “健康管理（被ばく管理）”を宇宙航空研究開発機構、そう、あの“JAXA”から講師をお招きしてご講演いただきます。

皆さまお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

なお、会場の関係上先着70名とさせていただきます。

記



日 時：令和元年10月4日（金）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：診療放射線技師1,000円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“城北支部”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。 ※先着70名まで

問い合わせ：城北支部委員会 E-Mail : shibu\_jouhoku@tart.jp

第5地区委員長 稲毛秀一

第6地区委員長 高橋克行（城北支部委員長）

第16地区委員長 工藤年男

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

## 第66回きめこまかな生涯教育

### テーマ「四肢CT～明日から迷わないために～」

講師：東千葉メディカルセンター 越智 茂博 氏

四肢のCT検査はポジショニング、撮影条件など、迷うことが多い領域だと思います。また画質についても、十分なSNが満たしているかなども疑問に思うことがあるかと思います。今回は～明日から迷わないために～をテーマに企画を致しました。

多くのご参加をお待ちしております。

#### ～ プログラム ～

15:00～16:30 上肢（肩～肘～手～指）撮影のポジショニング、線量、画質、画像処理

17:00～18:30 下肢（股関節～膝～足～趾骨）撮影のポジショニング、線量、画質、画像処理

#### 記

日 時：令和元年10月5日（土）15時00分～18時30分（受付開始14時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員2,000円、非会員10,000円（当日徴収）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：[gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

# 会 告

## 3

### 2019年度 城西支部研修会

#### テーマ「医療被ばく低減施設認定をねらうには！」

講師：独立行政法人地域医療機能推進機構 船橋中央病院 山本 進治 氏

今回、医療被ばく低減施設認定の審査料改定があり、認定取得に向け迷っている施設も多いかと思います。  
これから審査を受けようと思っている施設、評価基準が分からぬから認定はまだ早いと思っている施設など取得に向けて分かりやすく解説していただきます。

施設認定は受けないけど医療被ばくの適正化について興味のある方、被ばくについての質問で困っている方など業務に必要な知識も講義していただきます。

若い方からベテランの方まで多くの皆さまのご参加をお持ちしております。

#### 記

日 時：令和元年10月7日（月）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）

場 所：板橋区立グリーンホール 6階 601会議室

〒173-0015 東京都板橋区栄町36-1

ア クセス：東武東上線 大山駅 北口より徒歩約5分

都営三田線 板橋区役所前駅 A3出口より徒歩約5分

受 講 料：診療放射線技師1,000円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“城西支部”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：30名（事前にお申し込みください）

問い合わせ：城西支部 E-Mail : [shibu\\_jyousai@tart.jp](mailto:shibu_jyousai@tart.jp)

第3地区委員長 平瀬繁男

第9地区委員長 市川篤志

第10地区委員長 澤田恒久

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上



\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

## 第89回日暮里塾ワンコインセミナー テーマ「一般撮影の守破離を考える」

講師：春日部市立医療センター 工藤 年男 氏

基礎を教えてもらわずに自己流の撮影ではありませんか。教えてもらったとしても初めから自己流のアレンジや間違ったやり方でやっていてはうまくいきません。

撮影を学ぶには、基本実技指導が必要です。ここで「守」にあたる先輩から教えられた仕事（真似する）の基本を学びます。その後他の技師からさまざまなこと学び、自分なりの工夫をして応用・発展していく「破」があり、長い技師生活を経て始動する「離」と変化していきます。

撮影法もスポーツも最初は先輩や先生から基本を教わることから始まります。そろそろ自分自身で考えた新しい撮影法を構築しませんか。

### 記

日 時：令和元年10月26日（土）16時00分～19時00分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

参 加 費：会員500円、非会員3,000円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

# 会 告

## 5

### 地球環境保全活動 荒川河川敷清掃

### <荒川クリーンエイド2019@北区 荒川岩淵関緑地>

これまで公益社団法人東京都診療放射線技師会では、第5地区を中心に環境保全ボランティア活動の一環として、富士山、富津海岸、日暮里駅前などの清掃活動を行ってまいりました。

今回は技師会事務所に程近い荒川河川敷にて、荒川クリーンエイドに参加して清掃活動を実施します。荒川の自然を守り、動植物に優しい河川環境を作ることを目的とした趣旨をご理解いただき、ふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。

#### 記

日 時：令和元年10月27日（日）（受付開始9時30分～）

作業時間：10時00分～12時00分（予定）

\*雨天の場合中止

場 所：荒川岩淵関緑地 岩淵船着き場近く

\*現地集合になります。技師会スタッフジャンパーを目印にご参加ください。

交 通：JR赤羽駅 東口下車 徒歩約20分

東京メトロ南北線 赤羽岩淵駅1番出口より 徒歩約15分

JR王子駅または赤羽駅より都バス「王57系統」岩淵町停留所下車 徒歩約10分

作業内容：河川敷の清掃活動

参 加 費：無料

会場主催：北区まちづくり道路公園課 / 特定非営利団体 荒川クリーンエイド・フォーラム

そ の 他：参加団体は町会・自治会・ボランティア団体・小学校・企業など多数

軍手、ごみ袋、トングはお渡しします。

申込方法：事前登録が必要なため、参加希望の方は下記へお申し込みください。

詳細な案内をご連絡させていただきます。

問い合わせ：第5地区委員長 稲毛秀一 E-Mail：area05@tart.jp

以上



第19回 公益社団法人日本放射線技術学会東京支部  
公益社団法人東京都診療放射線技師会 合同学術講演会

テーマ 「診療放射線技師による画像検査レポートの現状」

講演 I 「当直時（夜間・休日）における読影補助の取組み」

講 師：公益財団法人東京都保健医療公社大久保病院 五十嵐三紀 先生

講演 II 「当院における時間外（夜勤時）CT MRI検査読影補助システムについて」

講 師：昭和大学藤が丘病院 本寺 哲一 先生

記

日 時：令和元年11月2日（土）16時00分～17時30分

会 場：首都大学東京 荒川キャンパス

〒116-8551 東京都荒川区東尾久7-2-10

ア クセス：日暮里・舎人ライナー 熊野前駅下車 徒歩約3分

都電荒川線 熊野前駅下車 徒歩約3分

田端駅から都営バス端44系統「北千住駅行」に乗車「首都大荒川キャンパス前」下車0分

参 加 費：今回は第36回日本放射線技術学会東京支部秋期学術大会の中での開催となり、参加費は以下の通りとなります。

- (1) 日本放射線技術学会東京支部秋期学術大会参加票をお持ちの方は無料
- (2) 第19回合同学術講演会のみ参加の方：会員1,000円 非会員2,000円  
新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料
- (3) 東京都診療放射線技師会会員で、第36回日本放射線技術学会東京支部秋期学術大会参加希望の方は、3,000円（予定）で参加ができます。

申込方法：当日参加受付のみ

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上



\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

## 第67回きめこまかな生涯教育

### テーマ「四肢MRI～明日から迷わないために～」

今回は四肢のMRI検査を特集します。四肢はポジショニング、シーケンス、撮像面など、迷うことが多い領域だと思います。また画質についても、十分なSNが満たしているかなども疑問に思うことがあるかと思います。今回は～明日から迷わないために～をテーマに企画を致しました。

多くのご参加をお待ちしております。

#### ～ プログラム ～

15:00～16:30 上肢（肩～肘～手～指）撮影のポジショニング、シーケンス、その他

慶應義塾大学病院 布川 嘉信 氏

17:00～18:30 下肢（股関節～膝～足～趾骨）のポジショニング、シーケンス、その他

慶應義塾大学病院 藤代 力也 氏

#### 記

日 時：令和元年11月9日（土）15時00分～18時30分（受付開始14時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員2,000円、非会員10,000円（当日徴収）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：[gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

～入会促進企画～

## 第90回日暮里塾ワンコインセミナー & 第13地区研修会

テーマ「一般撮影画像処理」

誰でも理解できる一般撮影画像処理…あ～こうするんだ！

講師：公立福生病院 市川 重司

「肩関節のコントラストを良くしたい」「頸椎の7番をもう少し、見えるようにしたい」「肋骨を観察しやすくしたい」など、画像調整に苦慮している方は少なくないと思います。

原理も大事ですが、臨床で直ちに活用できないと悩みの日々は終わりません。

圧縮処理や周波数処理などの原理ではなく、どのように画像処理をしていくかをご説明したいと思います。

### 記

日 時：令和元年12月5日（木）19時00分～20時30分

場 所：たましんRISURUホール 〒190-0022 東京都立川市錦町3-3-20

ア クセス：JR中央線 立川駅南口より 徒歩約13分

JR南武線 西国立駅より 徒歩約7分

参 加 費：診療放射線技師500円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう



## 2019年度業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。

都道府県技師会にて実施される統一講習会は本年度が最終年度になります。多数の参加をお願い致します。

### 記

受講料：会員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者：5,000円、静脈注腸受講者：3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと。

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア) 講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ) 欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます。

申込み期間：各講習会開催初日の2週間前を締め切りとします。

#### 【第4回】

日 時：令和元年11月16日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）

令和元年11月17日（日）8時30分～17時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

ア ク セス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

募 集 人 数：30名

#### 【第5回】

日 時：令和2年1月18日（土）9時10分～18時20分（受付開始9時00分～）

令和2年1月19日（日）9時10分～17時00分

\*当初の日程から変更になりました。

場 所：三鷹産業プラザ 会議室

東京都三鷹市下連雀3-38-4 三鷹産業プラザ

ア ク セス：JR中央線・総武線 三鷹駅南口より徒歩約8分

募 集 人 数：70名

#### 【第6回】

日 時：令和2年2月29日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）

令和2年3月 1日（日）8時30分～17時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

ア ク セス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

募 集 人 数：30名

以上

# 会 告

# 10

## 2019年度 SR推進委員会（公益・災害）研修会

### テーマ「非常用電源運用時の放射線機器のマネジメント」

災害時には電気・ガス・水道などライフラインの確保が難しくなることが予想されます。ライフラインの確保は、医療機関の機能維持において必須となる項目の一つです。

放射線部門においては、放射線機器を稼働する上で電源確保は重要であり、災害時の被害状況によっては非常用電源による限られた電源容量下での運用が求められます。

昨年度の研修会では、放射線機器の災害対策として地震・水害を想定し、各医療機器メーカー担当者からの情報提供および当委員会委員から自施設の地震・水害対策について報告を行いました。

本年度の研修会では、非常用電源運用時に適した放射線機器のマネジメントについて考えたいと思います。医療機器メーカーからは、撮影条件と電力量の関係について、当委員会委員からは非常用電源下における放射線機器の運用について自施設の状況を報告致します。

各施設で進められている災害対策の一助となれば幸いです。

#### 記

日 時：令和2年1月24日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：50名（先着順）

受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円（当日徴収）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“災害対策委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：SR推進委員長 渡辺靖志 E-Mail：[saigai@tart.jp](mailto:saigai@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

## 日本診療放射線技師会の 永年勤続表彰について

渉外委員会

日本診療放射線技師会より本会に対し、標記について永年勤続表彰候補者の推薦依頼がありました。今年度の資格到達者は本会で調査致しますが、調査漏れなどにより令和元年9月30日までに本会から連絡がない方、または前年度までに資格到達された方で受賞の意思のある方は、お手数ですが令和元年10月15日までに東京都診療放射線技師会事務所までご連絡くだされば幸甚に存じます。

### 規程内容分旨

#### 【永年勤続表彰30年】

1. 令和2年3月31日現在において放射線関連業務に従事して勤続30年以上であること（診療エックス線技師または診療放射線技師免許取得が平成2年3月31日以前の方）
2. 平成18年3月31日（平成17年度）以前までに入会し引き続き日本診療放射線技師会会員であること（15年以上継続会員）
3. 表彰される年度までの会費を完納していること
4. 会の名誉を傷つける行為のこと
5. 過去において同じ表彰を受けたことがないこと

#### ※必要書類

日本診療放射線技師会指定の履歴書「様式第5号」

#### 【永年勤続表彰50年】

1. 永年勤続表彰30年（旧25年表彰）を受けた者で、その後更に会員として20年以上在籍し、会費を完納した方（診療エックス線技師または診療放射線技師免許取得が昭和45年3月31日以前の方）
2. 前項4および5に同じ

問い合わせ：渉外委員長 高野修彰 E-Mail : shougai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

# お知らせ

## 1

### 2019年度 第4地区研修会

#### テーマ 「医療被ばく線量管理～医療法改正における 線量管理システム導入について～」

講 師：上尾中央総合病院 佐々木 健

講 師：北里研究所病院 小林 隆幸

被ばく管理は診療放射線技師の責務であり、日々絶え間ない労力を使い、膨大な資料と管理業務を行っていると思います。しかし、被ばく線量の管理と一口に言っても、手探り状態で悩みながら行っているのが現状ではないでしょうか？

そのような中、2020年4月より医療法が改正され、医療被ばくの線量管理と記録が義務付けられることになります。これに伴い各メーカーからもさまざまな線量管理システムがリリースされ、活用法や運用の違いについてプレゼンテーションされることも多くなりました。

今回の研修会では、線量管理システムをすでに導入しているご施設から講師をお招きし、実際の運用や活用法、また医療法施行規則の考え方などをご講演いただきます。また、専用ソフトを用いずにExcelを使用した管理法の一例をもとに、既存のシステムを利用した運用法についても考えていきたいと思います。この研修会へご参加の“前”と“後”で被ばく線量管理の考え方方が変わること必至であります。

会員・非会員問わずお誘い合わせの上、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

#### 記

日 時：令和元年11月8日（金）19時00分～（受付開始18時30分）

場 所：JR東京総合病院 病棟地下講堂

東京都渋谷区代々木2-1-3

参 加 費：診療放射線技師500円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：1) 申込メールアドレス（area04@tart.

jp）に氏名・地区名・勤務先を記載し送信。

2) 東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第4地区委員会”を選択）からお申し込みください。

3) 会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第4地区委員長 目黒一浩

E-Mail：area04@tart.jp

地下講堂へは小田急サザンタワー側の道路をご利用ください



以上

\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

## 2019年度 第9地区研修会

### テーマ「これから始めるMRI検査」

講 師：メディカルスキャンニング銀座 千嶋 昭夫 氏

今回は、MRI検査について研修会を開催致します。これからMRI検査を始める方や始めたばかりの方を中心に基盤的な講義をしていただきます。

MRI検査を担当したことのない方にでもMRI画像の読影なども分かりやすく解説していただき、業務に必要な知識を深めていただきたいと思っております。

若い診療放射線技師の方をはじめ、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

#### 記

日 時：令和元年11月29日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：板橋区立グリーンホール 6階 601会議室

〒173-0015 東京都板橋区栄町36-1

ア クセス：東武東上線 大山駅 北口より徒歩約5分

都営三田線 板橋区役所前駅 A3出口より徒歩約5分

受 講 料：診療放射線技師500円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第9地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：30名

問い合わせ：第9地区委員長 市川篤志 E-Mail：[area09@tart.jp](mailto:area09@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



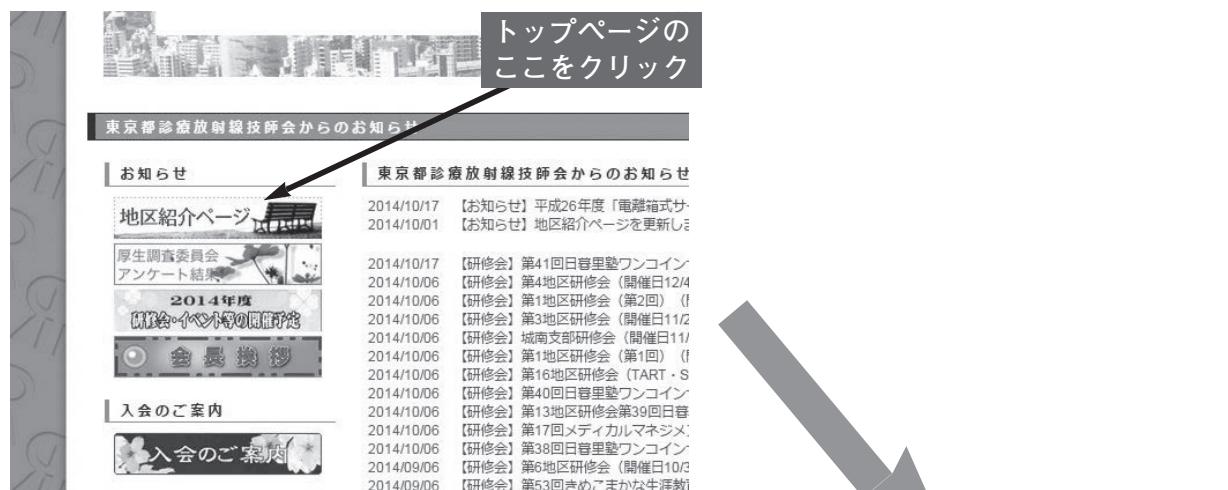
\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

# お知らせ 3

## あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページhttp://www.tart.jp/に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひご活用ください。



東京都診療放射線技師会からのお知らせ

お知らせ

地区紹介ページ

2014年度  
研修会・イベント等の開催予定

会員登録

入会のご案内

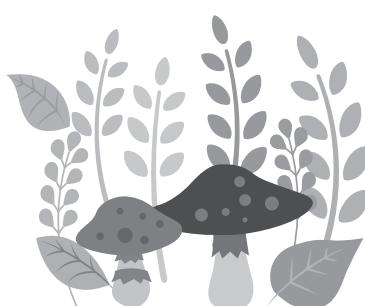
入会のご案内

トップページの  
ここをクリック

2014/10/17 【お知らせ】平成26年度「電離箱式サ...  
2014/10/01 【お知らせ】地区紹介ページを更新しま...  
2014/10/17 【研修会】第41回日暮里塾ワンコイン...  
2014/10/06 【研修会】第4地区研修会（開催日12/4...  
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第2回）（1...  
2014/10/06 【研修会】第3地区研修会（開催日11/2...  
2014/10/06 【研修会】城南支部研修会（開催日11/...  
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第1回）（1...  
2014/10/06 【研修会】第16地区研修会（TART・S...  
2014/10/06 【研修会】第40回日暮里塾ワンコイン...  
2014/10/06 【研修会】第13地区研修会第39回日暮...  
2014/10/06 【研修会】第17回メディカルマネジメ...  
2014/10/06 【研修会】第38回日暮里塾ワンコイン...  
2014/09/06 【研修会】第6地区研修会（開催日10/3...  
2014/09/06 【研修会】第53回きめこまかなる生涯教...

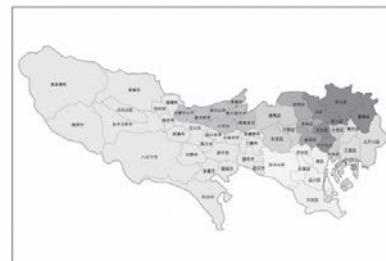
なお、毎月月替りで、各地区の特色や活動を紹介しています。  
地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

### 情報委員会



第1地区	第5地区	第9地区	第13地区
第2地区	第6地区	第10地区	第14地区
第3地区	第7地区	第11地区	第15地区
第4地区	第8地区	第12地区	第16地区

城東支部	第1地区	千代田区	
	第2地区	中央区	台東区
	第3地区	豊田区	江戸川区
	第4地区	千葉方面地区	千葉地域
	第5地区	港区	渋谷区
	第6地区	品川区	大田区
	第7地区	世田谷区	目黒区
	第8地区	世田谷区	神奈川方面地区
	第9地区	目黒区	神奈川地域
城西支部	第3地区	新宿区	
	第9地区	世田谷区	
	第10地区	練馬区	杉並区
城北支部	第1地区	文京区	北区
	第2地区	豊島区	豊島区
	第3地区	板橋区	板橋区
多摩支部	第16地区	埼玉方面地区	埼玉地域
	第12地区	西東京市	東久留米市
	第13地区	小平市	東村山市
	第14地区	武蔵村山市	東大和市
	第15地区	上記、第12地区以外の多摩地域	



# 第70回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会(抄)

開催日：令和元年6月14日（金） 開催場所：日暮里サニーホール

鈴木総務委員長：只今より第70回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を開会致します。まずははじめに物故会員の方々へ黙祷を捧げたいと存じます。皆さまご起立願います。（黙祷）ご着席ください。それでは、はじめに、篠原健一会長よりご挨拶を申し上げます。



篠原会長：本日は第70回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会、代議員制になって二回目の定期総会にご参集いただきまして誠にありがとうございます。また、ご来賓と致しまして公益社団法人日本診療放射線技師会の中澤靖夫会長ならびに公益社団法人日本放射線技術学会東京支部の飯田紀世一支部長にはご多忙にもかかわらずご臨席を賜りまして感謝を申し上げます。そして代議員の皆さま、表彰される皆さまもお仕事帰りのお疲れの中ご参集いただきまして誠にありがとうございます。表彰の皆さまには、長年のご功績、また技師会へのご協力に対しまして感謝を申し上げますとともに心よりお祝いを申し上げる次第であります。さて皆さま、いよいよ2019年度の関東甲信越診療放射線技師学術大会が二週間後と迫ってまいりました。二年前にキックオフ致しまして、白木実行委員長を中心に準備を進めてまいりました。学術大会ですので演題数が重要ということで、前回10年前と同じように100演題以上を目標に取り組んでまいりましたけれども、本日ご列席の皆さま、ご所属の施設の皆さま、そして一都九県の会員にご協力をいただきまして133演題というエントリーをいただきました。改めまして、この場をお借りして感謝を申し上げます。残りわずかの準備期間となりましたけれども、準備も学術大会も楽しみたいと思います。皆さまの一人で

多くのご参加をお願い致します。今回、70回の総会となりますけれども、来年は本会の創立70周年となりまして記念事業を計画しております。こちら



は、石田副会長を実行委員長とし準備しているところであります。1950年（昭和25年）に発足し諸先輩方が積み重ねてこられましたこの歴史を振り返る機会にしたいと思っておりますので、こちらもよろしくお願ひ致します。そしてさらに2021年になりますと第37回日本診療放射線技師学術大会及びAACRT（Asia Australasia Conference of Radiological Technologists）アジア・オーストラレーシア放射線技師学術会議を東京で開催するということで準備を進めております。こちらは、市川理事を実行委員長とし進めております。今年から三年連続で大きな事業を進めなければならないのですけれども、ただ単に会の実績を残すというだけではなくこの事業を通して経験というものを次の世代にしっかりとつなげ、継承して人材を育てる三年間にしたいと思っておりますのでよろしくお願ひ致します。先日、日本診療放射線技師会の第80回定時総会がありまして、そのいくつかある議題の中で診療放射線技師法の改正案というものがあり承認をされました。内容はいろいろありますけれども、日本診療放射線技師会の取り組む診療放射線技師法の改正、また、指定規則の改正、皆さまご存知かとは思いますが、医療放射線の安全管理責任者に対する取り組み等に関しましても首都東京の技師会であるわれわれが日本診療放射線技師会に積極的に協力をていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひ致します。本日は皆さまの活発なるご意見、忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

鈴木総務委員長：次に、ご来賓よりご祝辞を賜りたく存じます。公益社団法人日本診療放射線技師会会长 中澤靖夫様よりご祝辞を賜りたく存じます。

中澤日放技会長：只今ご紹介に預かりました日本診療放射線技師会の中澤でございます。本日は第70回東京都診療放射線技師会の定期総会の開催を心からお喜び申



中澤日放技会長

し上げる次第でございます。私からは三つのお話しをさせていただきたいと思っております。まず第一は、医療放射線の安全管理を推進しようということございます。昨年の7月に厚生労働省社会保障審議会医療部会で医療法を改正して医療放射線の安全管理を義務化しようということが委員会で決まりました。そして、医療放射線の安全管理責任者として医師・歯科医師となりました。診療放射線技師が一度外されました。これはとんでもないということで、われわれ執行部は厚生労働省に対して半年間にわたり諒解活動を行ってまいりました。ポイントは三点ございます。診療放射線技師の諸先輩の皆さま方がしっかり行ってきた医療放射線の安全管理活動の実績、これをまず訴えたということ。二つ目は、ICRPにおける正当性の考え方。レベル1~3について再度お話しさせていただいたこと。そして、三つ目はタスク・シフティング、業務の移管であります。この三点で半年間厚生労働省と折衝してまいりました。さらに立法府である自由民主党、その中にある診療放射線技師制度に関する議員懇話会、あるいは公明党の中にある診療放射線技師制度に関する議員懇話会、これを開催していただいて、厚生労働省からの事務方からも出席していただいて、そこでこの三点について諒解活動を行ったわけであります。さらに昨年の暮れの12日には、自民党の岸田文雄政調会長にぜひご理解いただきたいということ、そして12月27日には根本匠厚生労働大臣に直接お会いしてお話しさせていただきました。年が明けた1月には吉田学医政局長に対して改正案・修正案を提案させていただきました。それを受けた厚生労働省はパブリックコメントを求め、そして8カ月ぶりに今年の3月6日に第8回医療放射線の適正管理に関する検討会を開催していただきその中で、パブリックコメントも参考にしながら条件付きではありますけれども医療放射線の安全管理責任者を診療放射線技師もできるということを勝ち取ったわけであります。これからが重要でございます。全国の約8,400の病院、10万近くあるクリニックにCT・MRIなどが入っております。ここの医療放射線安全管理責任者を主体的に診療放射線技師に行ってもらいたいと思っております。本日ご列席の皆さま方におかれましても、ご自分の施設に対して私たちが医療放射線の安全管理責任者をやると訴えてぜひやっていただきたい。せっかく素晴らしい資格を勝ち取ったわけですので、ぜひこの活動をやっていただきたいと思います。私ども本会も、これに伴う皆さま方のサポート体制として10月13日及び14日

に医療放射線安全管理責任者の講習会を予定しております。ぜひこの講習会にも参加いただき来年の4月1日が法律の実施でございますので、医療機関における医療放射線安全管理責任者として活躍していただきたいと思っております。二つ目のお話しですけれども、さらなる業務拡大を行おうということでございます。厚生労働省は今、全ての職能団体に対してタスク・シフティング、さらなる業務移管、各団体に何ができるのでしょうかということの問い合わせが来ております。第一回目の会議が6月17日、10団体が集まってヒアリングがございます。私どももそのための準備を行っております。47都道府県の会長にどういう業務ができるのか、さらなる業務の拡大は何かということの意見を求めております。そして、17日には間に合っておりませんけれども次のタスク・シフティングの会議にはわれわれの意見を述べようと思っております。当然、第一次のチーム医療推進会議で決まった業務拡大で要望していたタスクシフトできなかったところ、例えばCTコロノグラフィーあるいは上部消化管における鼻腔からの造影、あるいは静脈注射、放射線部内における静脈注射でございますけれども、これも含めて新たな業務拡大を勝ち取ろうと思っております。そのためには、今勝ち取った平成27年から行っている統一講習会の受講率、こちらの更なる向上が必要でございます。第80回定時総会でも目標値は何%だとご意見がございましたけれども、70%まで上げましょうとお話をさせていただきました。東京都は全国でも最も多い会員数で大変だと理解しておりますけれども首都東京の技師会として、70%を目標に統一講習会を行っていただきたいと思っております。これを基盤に新たなタスク・シフティングを勝ち取っていきたいと思っておりますのでご理解とご協力をお願いしたい。三つ目のお話でありますけれども、国政に診療放射線技師の代表を送り込んで政策を実現させようということでございます。もうすでに新聞等で報道されておりますが、畠元将吾さんに同時選挙がないならば7月5日ごろ繰り上げ当選ということで衆議院議員に就任されます。しかし、同時選挙があったら難



しいと思っております。畠元将吾さんとは2013年（平成25年）に第23回参議院選挙で戦ってまいりました。その時の得票数が28,519票でございました。当選することはできませんでした。三年後の2016年第24回参議院選挙、これも戦いました。この時の得票数が37,731票でございます。三年間で約9,000票増やすことができましたけれども当選ラインの100,000票にはまだまだ足りなかったわけであります。そして翌年、第48回衆議院選挙中国ブロックから比例で出ました。残念ながら次点で終わったわけであります。そして、この7年間は国政に診療放射線技師会の代表を送り込もうということで、日本診療放射線技師連盟の全国の支部長たちと連携して戦ってきています。今回、畠元将吾さんが繰り上げ当選という形で衆議院議員になれましても残りの任期が2年であります。さらなる継続的な代表を送り込んでいく必要があろうかと思っております。今回の第25回参議院選挙には代表を送り込んではいません。ですけれども、第26回参議院選挙にはぜひ診療放射線技師の代表を立候補させて、新たな戦いを行っていきたい。それはなぜか。第80回定期総会で診療放射線技師法の抜本的な改正を賛成多数で議決したわけでありますが、この抜本的な改則を行うためには、国会で議案を提案しなくてはなりません。そのためには、その先頭に立つ衆議院議員・参議院議員が必要なのです。そのためにもぜひ、首都東京の会員の皆さんにおかれましては、日本診療放射線技師連盟に結集して私たちの代表を国政に送りだして、それだけではなく政策実現の仕事をさせていただきたいと思っております。ぜひ、日本診療放射線技師連盟にもお力を貸していただきたいと思っているところでございます。最後になりますが東京都診療放射線技師会の益々のご発展と本日ご列席の皆さん方のご健勝をご祈念させていただきましてお祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。

**鈴木総務委員長**：日本診療放射線技師会会長 中澤様ありがとうございました。続きまして公益社団法人日本放射線技術学会東京支部支部長 飯田紀世一様よりご祝辞を賜りたく存じます。



飯田東京支部長：皆さんこんにちは、只今ご紹介に預かりました日本放射線技術学会東京支部支部長の飯田でございます。第70回東京都診療放射線技師会定期総会にお招きいただきましてありがとうございます。本日は第70回東京都診療放射線技師会の定期総会の開催を心からお喜び申し上げます。また、日頃より日本放

射線技術学会東京支部へのご協力ご支援を賜りこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。この場をお借りしまして日本放射線技術学会東京支部の学術事業を少しご紹介させていただこうと思います。東京支部事業につきましては、年度計画に基づき学術事業を進めてまいります。その中で東京都診療放射線技師会とは20年近く学術講演会を合同で行う事業を共催させていただいております。また、6月29日に開催されます関東甲信越診療放射線技師学術大会においては、東京支部と東京都診療放射線技師会合同のシンポジウムのお話をいただきまして大変うれしく思っております。ぜひ、このシンポジウムと共に学術大会も盛り上げていけたらと思います。私たちの支部事業もそうですが、東京都診療放射線技師会との合同学術講演会開催につきましては、本年度私たちの秋季学術大会内で開催するとのお話をいただきまして、学術交流を通じてより一層絆を深めていけると思っていところです。篠原会長また白木副会長をはじめ役員の方々にご指導ご鞭撻を賜りながら東京支部と連携を図って、益々両会の発展に向かえたらと思っている次第です。ここで、少し私たちの学術大会の紹介をさせていただきたいと思います。来年2020年10月になりますが、第48回日本放射線技術学会秋季学術大会が東京で開催する予定となっております。僭越ながら私が大会長を拝命致しまして、実行委員長を東京女子医大の谷畠先生にお願いして準備を進めているところでございます。ぜひ、東京都診療放射線技師会また会員の皆さんのご支援を賜りながら盛大に開催したいと思っておりますのでご支援の程をよろしくお願い申し上げます。最後になりますが東京都診療放射線技師会の益々のご発展と会員の皆さん方のご健勝を祈念申し上げまして甚だ簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。

**鈴木総務委員長**：飯田様ありがとうございました。次に総会議事に先立ち、表彰を執り行います。平成30年度における、小野賞・永年勤続表彰・学術奨励賞・

新人奨励賞・地域功労賞の表彰及び感謝状の贈呈を執り行います。それでは担当理事お願い致します。

**高野涉外委員長**：涉外を担当しております高野です。よろしくお願い致します。それでは平成30年度表彰を行います。はじめに公益社団法人日本診療放射線技師会表彰規程第10条による地域功労表彰を行います。これは各都道府県診療放射線技師会の役員として日本診療放射線技師会の発展に關し功績及び貢献が顕著であった方々に



日本診療放射線技師会より贈られます。それでは、地域功労者表彰受賞の3名の方々を紹介致します。森俊さん、若杉慶市さん、工藤年男さん、なお、工藤さんは所用のため欠席されております。では、前の方へお進みください。

**篠原会長**：功労賞、森俊殿。あなたは多年にわたり会員の職業倫理高揚と診療放射線学及び診療放射線技術の発展に寄与されました。また、東京都診療放射線技師会の理事として地域の公衆衛生の向上に尽力されその功績は誠に顕著であります。よってその業績をたたえ功労賞を授与致します。2019年6月14日公益社団法人日本診療放射線技師会会长 中澤靖夫。長年ありがとうございます。



地域功労表彰：森会員

功労賞、若杉慶市殿。以下同文でございます。2019年6月14日公益社団法人日本診療放射線技師会会长 中澤靖夫 代読 公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。長年にわたりありがとうございます。



地域功労表彰：若杉会員

**高野涉外委員長**：受賞の方々おめでとうございます。続きまして、表彰規定第2条第5項により小野賞の表彰を行います。小野賞は多年にわたり技師会活動ならびに地域医療に貢献された方々を対象に各委員会からの推薦を受け理事会の承認を受けた方々に贈られます。氏名を呼ばれた方はその場でご起立お願い致します。それでは本年度小野賞受賞の5名の皆さまを紹介致します。学術教育委員会 徳間信子さん、編集委員会 森美加さん、第1地区 齊藤謙一さん、第5地区 鈴木正晴さん、第6地区 鈴木勝さん、5名を代表して森美加さん前へお願い致します。

**篠原会長**： 表彰状、小野賞、森美加殿。あなたは多年にわたり地区活動ならびに地域医療に貢献された功績は

誠に顕著でありその功績は小野賞に値します。ここに第70回定期総会において表彰致します。令和元年6月14日公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。ありがとうございました。



小野賞：森会員

**高野涉外委員長**：ご着席ください。続きまして表彰規定第2条第2項により功労賞（勤続20年表彰）の方々を紹介致します。平本健一さん、榎澤路子さん、矢作真一さん、鈴木勝敬さん、飯塚智裕さん、戸島暁史さん、川田たか子さん、小林弘明さん、齊藤久美子さん、松尾一郎さん、末永光八さん、菊池達哉さん、小野寺裕一さん、浅沼芳明さん、福野秀樹さん、梁川晋治さん、西田賢治さん、以上の方々を代表して矢作真一さん前にお願い致します。

**篠原会長**：表彰状、矢作真一殿。あなたは20年以上にわたり診療放射線業務に精励され技師会に貢献された功績は誠に顕著であります。ここに第70回定期総会において表彰致します。令和元年6月14日公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。おめでとうございます。



勤続20年表彰：矢作会員

**高野涉外委員長**：ご着席ください。続いて学術奨励賞、新人奨励賞の表彰ですので学術教育委員長の市川理事に代わらせていただきます。



市川学術教育委員長

**市川学術教育委員長**： 学術教育からご報告申し上げます。平成30年度新潟で行われました関東甲信越診療放射線技師学術大会及び9月に山口県で行われました日本診療放射線技師学術大会で発表された東京都の会

員の演題の中から選ばせていただきました。まず新人賞ですけれども、演題名「腰椎分離すべり症における単純X線画像を用いた形態学的特徴の検討—予後因子について」施設名：昭和大学病院、発表者：山下優夏さん。それでは前へお進みください。

**篠原会長**：賞状、新人奨励賞。昭和大学病院、山下優夏殿。平成30年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「腰椎分離すべり症における単純X線画像を用いた形態学的特徴の検討—予後因子について」は極めて優秀と認められました。よって第70回定期総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。令和元年6月14日公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。どうもおめでとうございます。

**市川学術教育委員長**：二人目です、演題名「DWIBS検査における撮像方向の基礎的検討」施設名：昭和大学江東豊洲病院、発表者：西村絃子さん。前へお進みください。

**篠原会長**：賞状、新人奨励賞。昭和大学江東豊洲病院、西村絃子殿。平成30年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「DWIBS検査における撮像方向の基礎的検討」は極めて優秀と認められました。よって第70回定期総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。令和元年6月14日公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。おめでとうございます。

**市川学術教育委員長**：三人目、演題名「放射線部門における外国人患者対応への取組みについて」施設名：順天堂大学医学部附属順天堂医院、発表者：富原潤さん。前へお進みください。

**篠原会長**：賞状、新人奨励賞。順天堂大学医学部附属順天堂医院、富原潤殿。平成30年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「放射線部門における外国人患者対応への取組みについて」は極めて優秀と認められました。よって第70回定期総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。令和元年6月14日公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。どうもおめでとうございます。

**市川学術教育委員長**：四人目、演題名「CTガイド下生検における放射線防護ドレープを用いた被ばく低減の検討」施設名：公立昭和病院、発表者：圓城寺純至さん。前へお進みください。

**篠原会長**：賞状、新人奨励賞。公立昭和病院、圓城寺純至殿。平成30年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「CTガイド下生検における放射線防護ドレープを用いた被ばく低減の検討」は極めて優秀と認められました。よって第70回定期総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。令和元年6

月14日公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。どうもおめでとうございます。

**市川学術教育委員長**：皆さまおめでとうございます。では、続きまして平成30年度学術奨励賞の方に移りたいと思います。演題名「夜間・休日救急診療における読影補助の取組みについて」施設名：東京都保健医療公社大久保病院、発表者：五十嵐三紀さん前へお進みください。

**篠原会長**：賞状、学術奨励賞、東京都保健医療公社大久保病院、五十嵐三紀殿。平成30年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「夜間・休日救急診療における読影補助の取組みについて」は極めて優秀と認められました。よって第70回定期総会において学術奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。令和元年6月14日公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。おめでとうございます。

**市川学術教育委員長**：おめでとうございます。学術教育委員会からは以上となります。

**鈴木総務委員長**：受賞者の皆さまおめでとうございます。なお、受賞者の皆さまは記念撮影を行いますので、総会終了後は御着席のまましばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。総会議事に移ります前に、ご来賓の方々がご退席致します。ご来賓の皆さま方には、ご多用にもかかわらず、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。貴会皆さま方の益々のご発展を祈念申し上げます。皆さま拍手でお送り願います。なお、中澤様は本会顧問でもありますのでそのままご着席でお願い致します。それでは、本総会の総会運営委員をご紹介致します。総会運営委員は総会運営規定により各支部から選出されております。総会運営委員として、富樫敦史さん、甲斐麻記子さん、柴崎了輔さん、垣地文範さん、保川裕二さん、以上5名、総会運営委員長は富樫敦史さんです、よろしくお願いします。

**富樫総会運営委員長**：

総会運営委員長 富樫  
よりご報告申し上げます。会誌「東京放射線」3月号にて告示されておりますが、今回の総会においての代議員数



は69名です。総会成立代議員数は本会定款21条により全ての代議員の過半数の出席者数35名以上であります。現時点での代議員の出席状況をご説明致します。総会出席者数54名、委任状12名、合計66名、従いまして、この第70回定期総会は成立することをご報告致します。

**鈴木総務委員長**：富樫委員長ありがとうございました。それでは、本総会の議長団を選出したいと存じます。会場より、立候補の方、いらっしゃいますか。（挙手）立

候補された方は前へお進みください。それでは議長団よろしくお願ひ致します。それでは本日議長を務めさせていただきます第6地区の岡部博之です。第7地区の富丸佳一です。よろしくお願ひ致します。

**富丸議長**：これより審議してまいります。第1号議案 平成30年度事業報告案、第2号議案 平成30年度決算



富丸議長・岡部議長

報告案・平成30年度監査報告を私、富丸が、第3号議案 平成31年度事業計画案、第4号議案 平成31年度予算案、第5号議案 定款改正案を岡部が担当致します。皆さまのご協力を頂き、議事を進めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願ひ致します。はじめに、議事に入ります前に、総会職員の任命についてお諮り致します。総会職員については、総会準備委員名簿がすでに総会資料に掲載されておりますが、この場で改めて議長団よりご指名し、皆さまの拍手をもって、承認を得たいと存じます。異議ございませんでしょうか。(拍手) 異議がないようすで、指名をさせて頂きます。はじめに、書記・写真・記録係として内藤哲也さん、岩井譜憲さん、森美加さん、田沼征一さん、以上4名の方々です。続いて、会場係として浅沼芳明さん、岡部圭吾さん、吉井伸之さん、松田紗代子さん、以上4名の方々です。次に採決係として雨宮広明さん、村山嘉隆さん、新川翔太さん、河内康志さん、高瀬正さん 以上5名の方々です。最後に本日の議事録署名人は議長の岡部博之、富丸佳一及び全出席理事となります。それでは、以上の総会職員について、拍手をもってご承認願います。(拍手) ありがとうございました。次に、総会の運営について総会運営委員会報告を富樫委員長よりお願ひします。

**富樫総会運営委員長**： 総会運営委員会よりご報告申し上げます。只今の時刻は19時47分です。これより、第1号議案 平成30年度事業報告案、第2号議案 平成30年度決算報告案・平成30年度監査報告、第3号議案 平成31年度事業計画案、第4号議案 平成31年度予算案、第5号議案 定款改正案、以上、第1号議案から第5号議案までを20時45分までにご審議願います。会員の皆さま方の活発なるご意見とご協力をお願い致します。

**富丸議長**：只今の報告について、異議はございませんでしょうか。(拍手) 異議がないようすで、報告の通り議事を進めさせて頂きます。続きまして議事の進め方についてお諮り致します。議案ごとに審議し、採決を行いたいと存じます。なお、採決の方法は、反対、保留、賛成の順で举手をもって行いたいと存じますが、異議ございませんでしょうか。(拍手) 異議がないようすで、議事に入ります。今回議事に関しまして、第1号および第2号議案に関して、報告と説明をしていただきその後、議案に対し質疑、採決という流れとさせていただきます。それでは、第1号議案 平成30年度事業報告案を議題と致します。それでは執行部より報告願います。

**篠原会長**：第1号議案 平成30年度事業報告につきまして、総括を読ませていただきます。



篠原会長

総括を読めば、「北陸(福井)豪雪」「島根県西部地震」「大阪府北部地震」「平成30年7月豪雨」「台風(複数)」「北海道胆振東部地震」その他、夏の猛暑も含め被災された方々に心よりお見舞いを申し上げる。一方、平昌オリンピックで冬季最多のメダル13個獲得、テニス全米オープンで大坂なおみ選手が日本人として初優勝、豊洲市場開場、本庶佑氏のノーベル生理学・医学賞などうれしい話題もあった。本会にとっても大きな転換点や大きな事業の実質的出発点に立つなど、多様な年度であった。まずは、5月26日(土)の第69回定期総会である。1950年(昭和25年)に本会が創立して以来初となる代議員制による総会を開催した。それに先立ち、新制度変更後初の代議員選挙が行われたが、各地区のご理解と多大なるご協力により、所属会員30人に一人の割合で滞りなく代議員を決めていただいた。会員、選挙管理委員の皆さまに改めて御礼を申し上げたい。今年の6月29日・30日に開催される関東甲信越診療放射線技師学術大会・東京大会の準備も着々と進み、12月に募集を開始した演題登録も目標の100演題を超えた。2年前のキックオフミーティングで大会テーマを『つながる医療 つなげる“和”～One for all, All for one～』と決定し、「つながる」「つなげる」にチーム医療推進やその手段、目的、理念となるさまざまな要素に“和”的意志を込め、サブタイトルについては「一人は皆のために、皆は一つの目的のために」という思いを重ねた。そしてこの学術大会は、2020年の創立70周年、東京ビッグサイトでの開催が決まった2021年の第37回日本診療放射線技師学術大会+アジア・オーストラレーシア放射線技師学術会議(AACRT)にもつながる重要な事業である。そしてさらに、組織の活力を次世代、未来へとしっかりと継承することも肝要であると思っている。業務範囲拡大に伴う統一講習会は全6回開催し、本会による当該講習会の実施回数、受講人数とも、本年度も他道府県に比べて一番多い数値となった。立地上本会会員以外の多くの方にも受講していただいた。こ

の事業は2016年度入学以降の学生が、2019年度以降の国家試験に合格して診療放射線技師となることで初めて養成カリキュラムと国試が一貫して完結となる。それ以外の方は新卒者も含め全員受講対象であるので、2019年度まで継続する予定である。国際化（交流）関連では、本会と学術交流協定を締結しているSRTA（ソウル特別市放射線士会）の安会長をはじめ学術・国際部理事、演者7名に、2018年6月30日～7月1日に関東甲信越診療放射線技師学術大会（新潟大会）にご参加いただいた。本会からは、2019年3月16日のSRTA学術大会2019にインターナショナルセッション発表者2名を含む6名で参加をしてきた。2019年6月29日～30日の関東甲信越診療放射線技師学術大会（東京大会）にSRTAの演題発表者2名を含むメンバーを迎える予定となっている。われわれ診療放射線技師は国民の皆さんの信頼に応え、医療安全の確保、医療及び公衆衛生の向上に寄与すべく、さまざまな方策を展開しなければならない。安心・安全そして納得できる医療技術の提供を求められている。常に最先端の医療技術を学び、Evidence（最善の根拠）と専門性と患者の価値観の統合に基づいた医療技術＝EBMを提供する必要がある。昨年度も、各種認定技師・専門技師の育成を関連団体と連携しながら推進し、本部または各支部・地区主催の各種講演会、セミナー、勉強会を開催した。今回の業務範囲拡大の結果が国民医療のためによかったのか、チーム医療推進に寄与したのか、それがさらなる業務拡大につなげなければならない。国民の医療安全の点を見すえて、10年後、20年後、30年後のあるべき未来のためにいま何をすべきかが重要である。現役中に実現できなくても、いま取り組んでおかなければ、さらに遠い未来となる。われわれには、この職能をより良いもの、より必要とされ信頼され責任を果たせる職能にして引き継ぐ使命がある。本会事業・活動の推進に対し、多大なご理解をいただいたことに感謝申し上げるとともに、新年度も今まで以上に都民・国民・会員のために本会の事業を推進する所存であり、皆さま方のより一層のご支援とご協力をお願いする次第である。以上、総括を読ませていただきましたが、事業報告詳細については総会資料記載の通りです。ご審議よろしくお願い致します。

**富丸議長：**それでは第2号議案の平成30年度決算報告案を議題と致します。執行部より報告願います。

**関経理委員長：**経理を担当しております関と申します。これより平成30年度の決算報告をさせていただきます。会誌5月号のp.33～41が第2号議案の決算報告となっております。まず、p.33の貸借対照表よりご説明致します。これは法人の3月31日現在の財産状況を示しており、資産合計と負債及び正味財産の合計とが一致しております

す。事前に資料を配布しておりますので特徴的なものについて説明し金額については端数の読み上げを省略させていただきます。まず、固定資産の特定資産に計上している建物と土地ですが建物部分について前年度より67万円ほど減少しております。これは事務所の取得金額から経年的に減価償却されたものであります。建物附属設備、什器備品についても同様に取得金額から経年的に減価償却されております。次に負債の部になります。まず、未払い金・預り金については3月までに支払うことができなかったものや源泉税を徴収したもので収益ではなく負債として計上しております。4月以降に税務署などに支払うものです。長期借入金は、事務所取得のためのものですが、現在は返済によりございません。以上より当年度末の資産は8,398万円となっております。次にp.34～35に正味財産増減計算書を示しております。またその内訳表をp.36～37に示しています。内訳表の右側には参考のために予算との差異を掲載しました。以下、主に内訳表で予算との差異がある箇所について説明させていただきます。受取会費は正会員2,394万円と賛助会員97,000円を合わせたものであります。賛助会員については正会員に編入されたため僅かな収益となっております。次に研修会事業収益は皆さまの参加のご協力もあり1,580,000円となりました。親睦会事業収益についてはボウリング大会や新春のつどいになりますが、こちらも皆さまのご参加により1,630,000円となりました。次に経常費用に移りますが事業費と管理費に大きく分かれています。事業費は技師会の事業活動を推進するために使うもので、管理費は事務所運営や法人全般の管理に使う費用となります。予算との対比で分かる通り全体的には節約志向で活動しており減少しているところが多く見られます。事業費から特徴のあるところを説明しますと、多く支出しているところは会議費と印刷製本費であります。これは会議数、会員数の増加によるものが影響していると思われます。広報関連費は公益活動を推進する上で各地の行政祭りへの参加、配布物の制作、HPの運営関連となって活発に活動された成果となっております。その他は例年通りの事業を推進しているために実績も例年と同様となっております。p.37の管理費についても同様の傾向となっております。以上のような内容により最終的に経常収益は2,989万円、経常費用が2,801万円と



関経理委員長

なって当期の経常増減額は1,877,751円となります。この金額には会計基準により計上している減価償却費分が含まれております。減価償却費は計上されて

いますが購入した時に費用を支払っているもので、実際には現金預金の流出を伴わない費用となります。したがいまして、実態としては事業の損益はかなり節約となっております。以上で決算報告と致します。ご審議よろしくお願ひ致します。

**富丸議長**：それでは続いて平成30年度監査報告を監事よりお願ひします。



葛西監事・野田監事

**葛西監事、野田監事**  
監事：監事の葛西一隆です、同じく野田扇三郎です。それでは平成30年度監査報告を申し上げ

ます。私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次の通り報告します。  
1. 監査の方法及びその内容。各監事は、理事及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。  
2. 監査意見。(1) 事業報告の監査結果。(一) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。(二) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実は認められません。(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果。計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。以上、監査報告です。

**富丸議長**：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンドマイクまでお願ひ致します。また、所属地区・氏名を述べてから、発言願います。質問に対しては執行部より回答致します。



第14地区 川上会員

**川上代議員**：第14地区の川上と申します。SR推進委員会の活動についてお伺いしたい。災害対策に対する啓発活動とありますが、具体的な活動をお教え願い

たい。

**渡辺SR推進委員長**：

ご質問ありがとうございます。具体的な推進活動と致しまして、各施設で災害対策マニュアルを作成されているかとは思いますが、使



渡辺SR推進委員長

用機器の各メーカーさんを呼んでどのような対策をすべきかの研修会を開催致しました。

**川上代議員**：ありがとうございます。

**河手代議員**：第14地区の河手と申します。先ほどの件ですが、研修会の明確な報告の記載がないのはなぜですか？ それと研修会が啓発活動ととらえてよろしいでしょうか。

**渡辺SR推進委員長**：5月号会誌p.21～22に報告は記載されています。また、啓発活動の件はそのようにとらえていただいて結構でございます。

**河手代議員**：ありがとうございます。それとp.24に学術誌“東京放射線”と月刊誌“東京放射線”とありますか、同一のものでしょうか。



**浅沼編集委員長**：ご質問ありがとうございます。同一のものでございます。

**河手代議員**：ありがとうございます。昨年の総会時に学術教育委員長の市川理事より新たに学術誌発行を計画しているとお聞きした覚えがあるのですが、そちらはどうなったでしょうか。

**市川学術教育委員長**：ご質問ありがとうございます。只今企画を構想中でまだ編集・印刷・発行までは至っておりません。現在は改訂版の作成を考えております。具体的に申しますと用語集の第二版、MRIの集中講習会といったところでしょうか。CTに関しても構想は持っております。

**河手代議員**：ありがとうございます。もう一つ、事業計画に則って行われたと思いますが達成できなかった事業はございますか。

**篠原会長**：金銭面や参加人数などの面で“達成”といった点ではそうじゃないところもあるかとは思いますが、計画されたものは全て実行されているかと思います。

**河手代議員**：ありがとうございます。それと決算報告p.34の研修会事業収益が減っていますが、この原因をお教え願いたい。

**鈴木総務委員長**：一昨年は“日暮里塾ワンコインセミ

ナー”が10回以上行われましたが、今回は講師や会場の都合もあって8回の開催に留まっております。その他の地区研修会などは同等に開催されておりますが、こちらが一因かとは推測致します。ただ、研修会参加費が会員・非会員によって研修会の種類で違うということもありますので、何が原因かというのは一概にこれとお答えするのは難しいです。

**河手代議員**：ありがとうございます。最後にもう一つ。先ほど決算報告、そしてこれから予算案も説明が口頭であるかと思いますが、そちらを会誌などに事前に載せていただけたら分かりやすくよろしいかと思いますがいかがでしょうか。

**関経理委員長**：ご提案ありがとうございます。説明したもののが掲載が有効なかどうか、また可能かどうか検討致します。

**河手代議員**：ありがとうございました。

**富丸議長**：質問がないようですので、第1号議案 平成30年度事業報告案について採決を行います。採決係の皆さん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって、平成30年度事業報告案は原案の通り承認されました。次に第2号議案 平成30年度決算報告案について採決を行います。採決係の皆さん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって、平成30年度決算報告案は原案の通り承認されました。



**岡部議長**：それではここから私、岡部が進めさせていただきます。第3号議案の平成31年度事業計画案を議題と致します。執行部より説明願います。

**篠原会長**：それでは、平成31年度事業計画案の総括を読ませていただきます。総括、本年（2019年）は、今上陛下のご譲位による改元があり、時代の大きな区切りとなる年である。他にも、4月の統一地方選挙、7月の参院選、10月の消費税10%など、さまざまな面で大きな変化が予測される。ラグビーワールドカップが開催され、東京五輪・パラリンピック開催も一年前となる。本会においても本年度はいよいよ関東甲信越診療放射線技師学

術大会・東京大会が開催となる。2年前のキックオフミーティングで大会テーマを『つながる医療 つなげる“和”～One for all, All for one～』と決定して準備を進めている。「つながる」「つなげる」にチーム医療推進やその手段、目的、理念となるさまざまな要素に“和”的意志を込め、サブタイトルについては「一人は皆のために、皆は一つの目的のために」という思いを重ねた。また、この学術大会は現状の体制で進めていくだけではいけない重要な使命を持った事業でもあると位置付けている。「次世代を育成し引き継いでいく」ということが大きな目的であり、多くの会員の皆さんに“参画”をしていただきたいと思う。2020年の創立70周年、2021年の第37回日本診療放射線技師学術大会+アジア・オーストラレシア放射線技師学術会議（AACRT）にもつながる重要な事業である。なお、第37回～AACRTについては、会場が東京国際展示場（東京ビッグサイト）に決まった。こちらもいよいよ各方面の具体的な準備活動がスタートとなる。われわれは国民の信頼にこたえ、医療安全の確保、医療及び公衆衛生の向上に寄与すべく本年度も「チーム医療を推進し、国民及び世界に貢献する診療放射線技師の育成」をスローガンとして各種事業を展開していく。そして、高性能化・多様化する医療機器、高度化する医療技術を学ぶ機会を供するとともに、エビデンスに基づいた医療技術を発展・普及させていかなければならぬ。診療放射線学の発展に寄与するとともに生涯教育・専門教育・各種認定・業務範囲の拡大に伴う研修など、公益社団法人日本診療放射線技師会をはじめとした関連団体と適切に連携・協力しながら推進していく所存である。また、被ばく相談、各種検査受診の啓発や不安解消、骨密度測定、マンモ触診体験、ピンクリボン運動への参加など、都民の中に入していく公益事業も引き続き推進する。災害対応への意識を風化させないために、防災・減災・緊急被ばく医療・BCP（事業継続計画）などもSR推進委員会を中心活動していく。

法改正による「診療放射線技師の業務拡大」に伴う統一講習会も本年度も継続して実施する。現在の職務に直接必要がなくても、診療放射線技師職としての業務範囲拡大であるので、新カリキュラムによる教育修了の学生が卒業してくるまでの間にできるだけ多くの既卒者に速やかに受講していただきたい。目先のことだけではなく、さらなる業務拡大や将来的な本質的法改正への重要なステップと認識していただきたい。診療放射線技師の役割として、検像や読影の補助、いわゆる一次読影の定義や質の担保、さらなる業務範囲の拡大や疑義照会などの導入も視野に入れる必要がある。以上のように、本年・1年後・2年後に向けて、同時進行的な動きが必要となる。ビジョンというのは、望ましい姿・訪れるであろう未来

から現在に投影して、今何をすべきか考えることである。もちろん、それぞれの事業について、時系列延長線上に考え都度対処していくことも必要となる。しかし、考え方の基本としては、先に目標や形を決めて、今しておくことを考えることが重要である。役員、会員各位には、一層のご支援・積極的な会務への参画をお願いする次第である。以下、定款に基づく本会の事業に関しましては資料の通りですので審議をよろしくお願ひ致します。



富丸議長

岡部議長

**岡部議長**：それでは第4号議案の平成31年度予算案を議題と致します。執行部より説明願います。

**関経理委員長**：これより平成31年度予算案をご提案させていただきます。会誌5月号のp.55～56が第4号議案の平成31年度予算書となっております。まず一番上の行を横に見ていただくと公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計に分かれており、その合計が右から3番目の予算合計になります。その右側に参考として前期予算との差異を掲載しました。この3列を見ていただきご説明致します。事前に資料を配布しておりますので特徴的なものを説明し、金額については端数の読み上げを省略させていただきます。まずp.55上半分ですが、1. 経常増減の部、(1) 経常収益で本会の収入を示しています。受取会費でありますが、会員は約2,300名ということで正会員と賛助会員で合わせて約2,390万円を計上しております。その他は前年実績を参考に計上しております。次にp.55下半分とp.56にかけての(2) 経常費用つまり支出をご説明致します。事業計画でも説明されましたが例年通りの事業が予定されております。会議費につきましては、会議数の増加及び代議員制移行により、また印刷製本費については、会誌発行の増加と研修会参加者の増加が見込まれその資料作成等が含まれます。その他の項目は前期予算との対比で分かる通り、昨年度とほぼ同額または減額となっており、今まで通りの節約志向での活動を目指しています。また、活発に公益活動を実施することと研修事業の充実を目指すということでやや予算を増額した部分もございます。以上より最終的に経常収益を4,502万円、経常費用も4,502万円となり、当期経常増減額は0円となります。以上で平成31年度予算書をご提案します。ご審議をよろしくお願ひ致します。

**岡部議長**：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンダードマイクまでお願い致します。また、所属地区・氏名を述べてから、発言願います。質問に対しては執行部より回答致します。



第14地区 河手会員

**河手代議員**：第14地区的河手と申します。p.55の収益なのですが、前年度に比べて広告収益が700万円増となっております。また会議費も大幅に増えていますがこちらは関東甲信越診療放射線技師学術大会の影響と考えてよろしいでしょうか。

**関経理委員長**：ご質問ありがとうございます。本年度は関東甲信越診療放射線技師学術大会が開催されますので、研修会事業収益と親睦会事業収益また受取補助金、広告収益を増額して計上しております。ご質問の点は大会費用として考えていただいて結構でございます。

**河手代議員**：こちらは別の会計項目にはならないでしょうか。

**関経理委員長**：会計基準に定められており、そちらに準じております。

**河手代議員**：ありがとうございました。

**岡部議長**：その他、ご質問はございますか。それでは、第3号議案 平成31年度事業計画案について採決を行います。採決係の皆さん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって、平成31年度事業計画案は原案の通り承認されました。次に第4号議案 平成31年度予算案について採決を行います。採決係の皆さん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって、平成31年度予算案は原案の通り承認されました。次に第5号議案 定款改正案を議題と致します。執行部より説明願います。



**篠原会長**：会誌p.57ですが、本会の運営の根本である定款に関して、東京都より各条項間における齟齬が指摘されました。具体的には、定款第16条と第43条の記載内容に相違が発生しておりました。定款・諸規程の改正が必要となるため、定款諸規程等検討委員会を中心検討を重ね、理事会に提示し各地区委員会に意見を求めるところです。

ともに、本会会誌「東京放射線」2月号に掲載し、平成31年2月1日から2月28日まで本会ホームページにてパブリックコメントを募集しました。変更箇所の詳細については、「新旧対照表」に示してあります。ご審議をよろしくお願い致します。

**岡部議長**：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンドマイクまでお願い致します。また、所属地区・氏名を述べてから、発言願います。質問に対しては執行部より回答致します。ご質問はござりますか。それでは、第5号議案 定款改正案について採決を行います。この議案は、定款第22条第2項の規定により総代議員の2/3以上の多数を持って議決となります。採決係の皆さん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって、定款改正案は原案の通り承認されました。ここで第1号議案から第5号議案までの採決結果が出ましたのでご報告させていただきます。第1号議案、反対0、保留0、



賛成60、第2号議案、反対0、保留0、賛成61、第3号議案、反対0、保留0、賛成60、第4号議案、反対0、保留0、賛成61、第5号議案、反対0、保留0、賛成61となりました。以上をもちまして第70回定期総会の議事を終了させていただきます。只今をもちまして議長団を解任させて頂きます。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

**鈴木総務委員長**：岡部議長、富丸議長ありがとうございました。滞りなく審議を終了し、改めて感謝申し上げます。以上で本日の全日程が終了致しました。白木副会長より閉会のご挨拶を申し上げます。



白木副会長

白木副会長：本日は代議員の皆さんにおかれましては第70回定期総会にご参集いただきまして誠にありがとうございました。おかげさまで滞りなく審議を

終了することができました。ご承認いただきました事業計画に則って役員一同一丸となって推進する所存でございます。また、いただきました貴重なご意見も真摯に受け止めて努めてまいる所存です。会長からもありがとうございましたが、いよいよ関東甲信越診療放射線技師学術大会の開催となります。当日は約170名の実行委員で執り行つてまいりますのでぜひご参集をお願い致します。それでは、第70回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を閉会と致します。本日は誠にありがとうございました。

平成30年度  
功労賞(勤続20年表彰)・小野賞・地域功労賞 受賞者

**【功労賞(勤続20年表彰)】**

第2地区	川田たか子	永寿総合病院
第4地区	齊藤久美子	東京都済生会中央病院
第4地区	小野寺裕一	JR東日本健康推進センター
第6地区	梁川 晋治	エヌ・ケイ・クリニック
第7地区	飯塚 智裕	東京臨海病院
第7地区	小林 弘明	清湘会記念病院
第8地区	菊池 達哉	大森山王病院
第9地区	末永 光八	城西放射線技術専門学校
第9地区	浅沼 芳明	板橋中央総合病院
第12地区	矢作 真一	緑成会病院
第13地区	平本 健一	みなみ野病院
第13地区	榎澤 路子	多摩健康管理センター
第13地区	松尾 一郎	町田病院
第14地区	鈴木 勝敬	千葉東病院
第14地区	福野 秀樹	柏たなか病院
第14地区	西田 賢治	松戸市立総合医療センター
第15地区	戸島 晓史	吉祥寺あさひ病院

**【小野賞】**

学術教育委員会	徳間 信子	みさと健和病院
編集委員会	森 美加	杏林大学 保健学部
第1地区	齊藤 謙一	東京通信病院
第5地区	鈴木 正晴	東京健生病院
第6地区	鈴木 勝	東京女子医科大学八千代医療センター

**【地域功労賞(公益社団法人日本診療放射線技師会 表彰)】**

第3地区	森 俊	
第5地区	若杉 慶市	
第16地区	工藤 年男	春日部市立医療センター



平成30年度 功労賞



平成30年度 小野賞



平成30年度 地域功労賞

## 「南関東FRT第5回研修会」に参加して

よこはま乳腺・胃腸クリニック 大内里香

皆さま「南関東FRT」をご存じでしょうか。南関東地域女性技師の会（南関東地域 Female of Radiological Technologist）のことです。始めは、公益社団法人日本診療放射線技師会の中で女性活躍推進委員会として発足した会ですが、2015年から各地域技師会の事業となったことを受け、私たち南関東地域のグループでは「南関東FRT」と命名し活動しています。年に一度の研修会では、女性技師発信ですが参加者は男女問いませんので、診療放射線技師として社会人として人材育成になるようなコーチングやコミュニケーションを取り入れながら開催しています。

先日の8月24日（土）15時から公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センターにて、南関東FRT第5回研修会が開催されました。テーマは「乳腺読影から治療までを学び、コミュニケーション学を身につけませんか」。3名の講師にお話しいただきました。

マンモグラフィの読影では、検診カテゴリーと診断カテゴリーを区別するようになった最新の情報から、マンモグラフィの画像を中心に他モダリティの画像と結び付けて考える方法や、その具体例を詳しくお話しいただきました。一つの症例をマンモグラフィ・超音波検査・MR・CT・病理と関連して説明

いただき、とても勉強になりました。

放射線治療では、マンモグラフィ画像から各検査を経て病期を考え、リンパ節領域を考えていくこと。治療の目的と期待する効果、そして治療計画と線量分布の評価の仕方をたくさんの画像で説明してもらい、スキンケアのタイミングや大切さは本当にためになりました。

最後は、ある大学のコミュニケーション学を教えている教授から、伝える課題とそれを説明する根拠の考え方ロジックツリーを使うと頭の中で簡単に文章が整理できることを教えていただきました。コミュニケーションは毎日の撮影の時だけでなく、職場内や家庭など、生きていく上で必要なスキルなので、少しでも円滑な人間関係を構築していくよう、もっとスキルアップしていきたいと思っています。そして、このようなことはやはり訓練が必要だと思うので、日々忘れずに試していきたいと思う内容でした。

簡単ですが、今回の感想を記載致しました。次回は2020年8月22日（土）を予定しています。興味のある方は開催日が近くになりましたら、技師会ホームページや会誌のチェックをお願いします。多数のご参加をお待ちしています。



## 看護フェスタに参加して

慈生会野村病院 江積孝之

5月18日に新宿駅西口広場で行われた、看護フェスタに参加しました。ここでは看護師を中心多く職能団体が毎年参加しています。東京都診療放射線技師会も毎年参加しており、マンモのしこり体験と放射線検査・治療についての相談を行いました。今年はドラマで「ラジエーションハウス」が放映されていたこともあり、「診療放射線技師会です」と言うと「あー、ラジエーションハウスの」という人が幾分か見られ、例年より周りの反応が違うようにも感じました。マンモしこり体験では、乳房ファンтомを使用し、経験豊富な女性技師が自己触診の方法やマンモグラフィー検査など詳しく説明をしており、終了まで人が絶えることなく大盛況で関心の高さをうかがわせました。放射線検査・治療相談のブー

スにおいては、やはり各種検査による被ばく線量がどれくらいなのかという声が多く聞かれました。ここではさまざまな方と話すので時には、ヤバイ（いろんな意味で）と思わせる方とも話しますし、とても興味深い話に出くわすこともあります。私自身も2年前にここで、都立病院の元技師という方に会いました。その人自身はすでに引退されているとのことでしたが、さまざまな病院の技師で構成されている、東放技の活動に興味を示していました。またご自分が在籍していた都立病院の技師会のことについても話されていて、興味深く聞いた思い出があります。

今後も診療放射線技師の認知度向上や自身の見識を広げるためにも、できるだけ参加しようと思います。



## 「ピンクリボンウォーク2019」印象記

慶應義塾大学病院 田中志穂

今年で18回目の開催となりました「ピンクリボンウォーク」は、豊洲公園を基点として、2キロ、4キロ、10キロの3コースに分かれて街を歩き、ピンクリボン活動をアピールする啓発イベントです。ピンクリボン活動についてはすでに多くの方が知るようになりましたが、それを自分自身の問題として捉え、定期検診の大切さや、技師会活動を知ってもらう良い機会と思い今年も参加してきました。

4月7日（日）当日、イベント会場となる豊洲公園には、ピンク色を身に着けた多くの参加者たちが集まりました。技師会メンバーは全員、青いジャンパーを着て、若干浮いて？？目立ちながらの広報活

動をしてきました。

出発式でオープニング、準備体操が行われ、スタート。皆さん元気よく出発、それぞれの距離を歩いてゴールです。早い方は30分ぐらいで戻られていきました。

イベントに参加して、改めて増え続ける乳がんについて皆さん自分が自分事として考え、今日元気にゴールできたのも健康あってのことだと話されていたのが印象的でした。また、一人でも多くの女性を乳がんから守るために、唯一の手段である検診をアピールするピンクリボン活動を今後も続けていきたいと強く感じる一日となりました。



# Pipe line

パイプライン

## 第7回 Kanto Advanced MR Forum

日本磁気共鳴専門技術者  
認定機構研究会

### MRI操作術を学ぶ

募集人数300名  
(事前登録なし)

第7回のKAMFはMR医学を実践する上で必要不可欠な知識の習得を目的とした内容になります。NMRの基礎に始まり画像法の原理やパルス系列に至る基礎面の構築と臨床面の応用を含めた講義を行います。受講対象者は初学者から既にMRIに従事している方を対象とし基礎知識の習得および整理を行います。今回は学生枠を設定しており学校で習うMRI検査学の予習・復習が行えると思います。多数のご参加をお待ちしております。

**日時** 2019年11月16日(土) : 10時~16時30分 (9時30分受付開始)

**会場** 駒沢大学教場 (301-1)  
東急田園都市線「駒沢大学」駅  
より徒歩10分



**会費** 会費 : 2,000円  
(学生は1,000円) 資料代含む

#### 【午前の部：概論】

講義1	NMRの基礎について (10:00~10:20)	高橋俊行 (昭和大学藤が丘病院)
講義2	MRIの装置構成について (10:30~10:50)	北川久 (東京慈恵会医科大学附属柏病院)
講義3	MRI画像の作り方 (11:00~11:20)	上山毅 (東京大学医学部附属病院)

昼食 (11時30分~12時30分 : 学生食堂も利用できます)

#### 【午後の部：各種撮像方法と臨床応用】

講義4	Spin Echo系列 (パルスシーケンス)	(12:30~12:50) 五十嵐太郎 (GEヘルスケアジャパン)
講義5	Spin Echo系列 (コントラスト)	(13:00~13:20) 内田幸司 (みたかクリニック)
講義6	Gradient echo系列 (パルスシーケンス)	(13:30~13:50) 五十嵐佳佑(横浜栄共済病院 )
講義7	Gradient Echo系列 (コントラスト)	(14:00~14:20) 木下友都 (上尾中央総合病院)

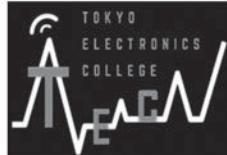
#### 休憩

講義8	DWI法	(14:40~15:00) 山崎敬之 (静岡済生会総合病院)
講義9	STIR法	(15:10~15:30) 南広哲 (横浜南共済病院)
講義10	FLAIR法	(15:40~16:00) 大塚勇平 (東海大学医学部付属大磯病院)
講義11	SSFP法	(16:10~16:30) 高橋光幸(横浜栄共済病院 )

共催 : Kanto Advanced MR Forum・エーザイ株式会社

# Pipe line

パイプライン



東京電子専門学校 診療放射線学科  
50周年総会記念式典・祝賀会のご案内

《総会・記念式典》

開催日時：2019年11月24日（日曜日）

12時15分～15時00分

開催場所：東京電子専門学校新2号館ホール

内 容：総会、記念式典、特別講演予定

《祝賀会》

開催日時：2019年11月24日（日曜日）

15時30分～18時00分

開催場所：サンシャイン60 58階

SUNSHINE CRUISE CRUISE

ぜひ多くの同窓生の皆様のご参加をお待ちしております！

お申込みは下記ホームページからお願いします

<https://toukyou-ec-ac-alumni.jimdofree.com/>

問合せ先：東京電子専門学校診療放射線学科内

同窓会事務局 ☎03-3982-3131



## 超音波スクリーニング研修講演会2019五反田

- 会期：令和元年12月14日（土）午前9時55分～午後5時00分  
※開場・受付開始：午前9時00分から
- 会場：TOC五反田メッセ（東京都品川区西五反田6-6-19）  
※JR山手線『五反田』西口より徒歩10分
- 参加費：6,000円 事前登録不要
- 主催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク
- 共催：日本総合健診医学会／日本消化器がん検診学会
- 後援：全国労働衛生団体連合会／日本超音波検査学会／日本臨床衛生検査技師会／  
東京都臨床検査技師会／神奈川県臨床検査技師会／日本診療放射線技師会／  
東京都診療放射線技師会／神奈川県放射線技師会／超音波検査法フォーラム／東京超音波研究会

### ■プログラム

### テーマ：USスクリーニングの重要所見

時間	第一会場（自由席1,000席）	第二会場（優先席150席・自由席200席）
9:55	開会の辞 理事長 桑島 章	
10:00 ～10:45	■胆道 講師：岡庭 信司（飯田市立病院） 司会：北村 拓郎（茅ヶ崎徳洲会病院）	■ライブセミナー1 肝臓 講師：丸山 憲一（東邦大学医療センター 大森病院） 司会：永井 悟（湘南藤沢徳洲会病院）
11:00 ～11:45	■腎臓 講師：関口 隆三（東邦大学医療センター 大橋病院） 司会：古賀 祥子（公立学校共済組合 関東中央病院）	■ライブセミナー2 胆道 講師：若杉 聰（千葉西総合病院） 司会：小宮 雅明（亀田総合病院）
12:15 ～13:00	■ランチョンセミナー『ちょっと当てたいカラードプラ』 講師：刑部 恵介（藤田医科大学 医療科学部） 司会：丸山 勝（東京通信病院）	■ライブセミナー3 実践！腹部スクリーニング 講師：神宮宇広明（東京都予防医学協会） 伊藤 正範（新宿健診プラザ） 司会：岩田 好隆（東京女子医科大学 東医療センター） ※ランチョンセミナーは、第二会場でもサテライト会場として映像・音声が流れます。
13:15 ～14:00	■乳腺 講師：尾羽根範員（住友病院） 司会：小野寺雅美（野村病院）	
14:15 ～15:00	■肝腫瘍性病変 講師：小川 真広（日本大学病院） 司会：藤崎 誠（富士フィルム健康管理センター）	■ライブセミナー4 膵臓 講師：岡庭 信司（飯田市立病院） 司会：吉成 亀藏（那須赤十字病院）
15:15 ～16:00	■脾臓 講師：比佐 岳史（JA長野厚生連 佐久医療センター） 司会：岩下 和広（飯田市立病院）	
16:15 ～17:00	■肝びまん性病変 講師：森 秀明（杏林大学医学部付属病院） 司会：金久保雄樹（水海道さくら病院）	
17:00	閉会の辞 副理事長 岡庭 信司	

※超音波検査士更新5単位が付与されます。

※ランチョンセミナー 昼食を用意しています。（1,000食限定）

※超音波関連書籍の展示販売を行います。



■問い合わせ先：超音波スクリーニングネットワーク

E-mail : us-net@pl-tokyo-kenkan.gr.jp

■ホームページ : <http://us-screening.kenkyuukai.jp/>

TOC五反田メッセ アクセス

## 学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

### 2019年度

#### 1. 学術研修会

第22回メディカルマネジメント研修会	令和元年11月
☆第18回ウインターセミナー	令和2年1月

#### 2. 生涯教育

第66回きめこまかな生涯教育	令和元年10月5日(土)
第67回きめこまかな生涯教育	令和元年11月9日(土)
第68回きめこまかな生涯教育	未定

#### ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第89回日暮里塾ワンコインセミナー	令和元年10月26日(土)
第90回日暮里塾ワンコインセミナー&第13地区研修会	令和元年12月5日(木)
第91回日暮里塾ワンコインセミナー	令和2年1月23日(木)

#### ☆4. 第19回東放技・東京都会合同学術講演会

5. 集中講習会	
第12回MRI集中講習会	令和2年2月

#### ☆6. 支部研修会

城北支部研修会	令和元年10月4日(金)
城西支部研修会	令和元年10月7日(月)
城南・多摩支部研修会	

#### 7. 地区研修会

第4地区研修会	令和元年11月8日(金)
第9地区研修会	令和元年11月29日(金)

#### 8. 特別委員会研修会

SR推進委員会研修会	令和2年1月24日(金)
	令和2年3月

#### 9. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動	令和元年10月27日(日)
日暮里駅前清掃活動	
富津海岸清掃活動	

#### 関連団体

学校創立60周年・同窓会創設40周年記念式典・祝賀会	令和元年10月5日(土)
第7回 Kanto Advanced MR Forum	令和元年11月16日(土)
2019年度第4回業務拡大に伴う統一講習会	令和元年11月16日(土)~17日(日)
東京電子専門学校診療放射線学科50周年総会記念式典・祝賀会	令和元年11月24日(日)
超音波スクリーニング研修講演会2019五反田	令和元年12月14日(土)
2019年度第5回業務拡大に伴う統一講習会	令和2年1月18日(土)~19日(日)
2019年度第6回業務拡大に伴う統一講習会	令和2年2月29日(土)~3月1日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

# 公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	令和 年 月 日( ) ~ 月 日( )	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [ ] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [ ] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 [ ]	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

**FAX 03-3806-7724**  
**公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所**

## 登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会員番号			
氏名	印		
氏名(カタカ)			
性別	男性・女性		
生年月日	昭和	平成	年 月 日生
メールアドレス			

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

氏名の変更

改姓(変更後の氏名)
------------

送付先変更

現在の送付先	勤務先・自宅
新送付先	勤務先・自宅

住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒 一
	電話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒 一
	電話	
旧自宅住所		

その他

通信欄	
-----	--

受付  
確認令和 年 月 日  
令和 年 月 日 印

# Postscript

今 年の中秋の名月は9月13日。その翌日の14日は今年で最も小さい満月が見られる日だったそうです。月の見かけの大きさは最も接近する時と最も遠ざかる時で目に見て分かるほど変わることですが、うっかり見逃してしまいました。

お月見といえば、中秋の名月のほかに「十三夜」、「十日夜（とおかんや）」というものがあります。「十三夜」はその名の通り、旧暦8月15日の十五夜のあとに巡ってくる十三夜を指しています。日本でうまれた風習だといわれており、栗や豆の収穫祝いでもあります。「十五夜」に次いで美しい月だといわれており、昔からとても大事にされてきました。また、どちらか一方しか月見をしないことを「片見月」「片月見」といい、縁起が悪いとされています。

一方、「十日夜」とは東日本を中心とした旧暦10月10日に行われていた行事です。ただし、十日夜は稲刈りを終えて神様を見送る行事であるため、収穫祭としての意味合いが強く、お月見がメインではないようです。

「十五夜」、「十三夜」、「十日夜」は風情を楽しむだけではなく、収穫と密接な関わりがあります。古来より月と太陽は陰と陽の象徴で、月は「お陰さま」の心に通じると考えられてきました。美しい月を愛でながら収穫や自然に対して感謝をする日本らしい行事であると思います。

今年の十三夜は10月11日（金）、十日夜は11月6日（水）です。お仕事帰りに夜空を眺めてみるのも良いかもしれません。

<Chai姉>



## 東京放射線 第66巻 第9号

令和元年9月25日 印刷（毎月1回1日発行）

令和元年10月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京（03）3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月曜～金曜 9時30分～17時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03) 3806-7724

## 編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一

# 会員動向

令和元年度4月～8月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
平成30年度末集計	2,235	198	33	25	134
平成31年 4月	2,246	14	2	2	3
令和元年 5月	2,270	27	1	3	1
令和元年 6月	2,293	24	0	1	0
令和元年 7月	2,325	28	4	0	0
令和元年 8月	2,338	16	0	2	1

Canon

究  
[ K i w a m i ]

匠  
[ T a k u m i ]



**Vantage Galan™ 3T**

認証番号: 228ADBZX00066000

画力、速力、究めて。  
魅せるMRI  
Vantage Galan 3T

テーマは、「究」「匠」「和」。  
「究の質」を追求した先鋭の高画質。  
新技術PURERFによりSNRが20%  
向上、高精細な画像を可能にします。  
さらに、撮像から解析までをアシ  
ストする豊富なアプリケーション  
は、臨床の世界を広げます。  
省エネ・省スペースを叶えた  
「匠の技」。  
広い開口部と静音化技術により、  
患者さんがリラックスして検査を  
受けられる「和の空間」。  
日本の技術の粹と心を尽くした  
3テスラMRIの世界が現れます。

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

東芝メディカルシステムズ株式会社は、2018年1月に「キヤノンメディカルシステムズ株式会社」へ社名変更いたしました。

*Made For life*